

**世界都市農業サミット
開催計画**

平成30年（2018年）8月

世界都市農業サミット実行委員会・練馬区

【 目 次 】

1	いま、なぜ、世界都市農業サミットか	1 ページ
2	開催のねらい	2 ページ
3	開催概要	3 ページ
4	実施体制	10 ページ

1 いま、なぜ、世界都市農業サミットか

近年、世界の各都市において、都市における農業や農地の役割・魅力が見直されてきており、農業への関心が高まるとともに、様々な取組が進んでいる。例えば、世界の流行発信基地であるニューヨークでは、若い女性を中心に自宅の畑で野菜を収穫するライフスタイルが注目されている。また、ロンドンでは、2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックを契機に市民農園を2,012か所整備する目標を掲げ、約2,500か所を開設した。このように、都市の中で農と関わる取組が世界各地で進められている。

また、日本では、平成27年（2015年）4月に都市農業振興基本法が制定され、都市農地は宅地化すべきものから、都市にあるべきものと位置付けられ、大きな政策転換が図られたところである。

練馬区は、世界の大都市東京において、市民生活と融合した農業が営まれている。都市の中に農地が存在し、農業が産業として営まれていることは世界的にも稀有であり、この意義は極めて大きいことである。

都市農業・都市農地は、農産物の供給や、防災、環境面などに関する多様な機能を有することはもちろんのこと、今後の都市における市民生活をさらに豊かにする可能性がある。

そこで、農業が融合する都市の魅力と可能性を、国内はもとより世界に発信するために、世界都市農業サミットを開催する。

サミットでは、参加各都市が都市農業の意義と魅力を共有し、相互に学び、新たな取組を探り、それにより都市農業の発展につなげていく。

* 世界都市農業サミットでは、大都市において市民生活に関わりを持ちながら営まれている農業を都市農業と捉えるものとする。

2 開催のねらい

世界都市農業サミットは、以下の3点をねらいとして開催する。

- (1) 都市農業の存在意義や魅力に関する認識が世界で共有され、都市農業の今後の発展につなげること

国内外の都市農業に関わる人たちが、都市農業の役割や魅力、取組内容を発表、意見交換し相互に学び合う。

また、今後の都市農業や都市のあり方についてともに考え、新たな取組を議論し、都市農業の今後の発展につなげていく。

- (2) 都市農業に関するネットワーク化と情報共有が進み、新たな取組を広げること

世界都市農業サミットを契機に、都市農業に取り組む都市や人が相互につながり、情報交換などを通して世界の取組を学び、新たな取組を広げていく。

- (3) 都市農業に対する誇りと意欲が高まること

都市農業の意義や魅力を共有し、広めることで、都市農業に携わる人や農のある都市で暮らす市民などの都市農業に対する誇りや意欲がさらに高まるよう取り組んでいく。

3 開催概要

1. 世界都市農業サミット

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け国際的な機運が高まり、農産物が豊富で、農にちなんだ多くのイベントが実施できる時期にサミットを開催する。

(1) 日程

平成31年（2019年）11月29日（金）～12月1日（日）

(2) 会場

メイン会場：練馬文化センター

イベント会場：区民・産業プラザCoconeriホール、平成つつじ公園、区内農地等

(3) 内容

シンポジウム、分科会の開催のほか、区の都市農業の視察・体験を実施する。また、（仮称）練馬大根引っこ抜き世界大会や区内各地でマルシェ等の農に関するイベントを実施する。

平成31年11月29日（金）	11月30日（土）	12月1日（日）	12月2日（月）
<p>招聘者集合</p> <p>農地の視察 ～練馬の都市農業を 体験・視察～</p>	<p>午前</p> <p>（仮称）練馬大根 引っこ抜き世界大会</p> <p>午後</p> <p>分科会 ・取組紹介 ・意見交換 等</p>	<p>午前</p> <p>シンポジウム ・パネルディスカッション ・サミット宣言等</p> <p>午後</p> <p>みんなde 農コンテスト 表彰式</p> <p>ワールドマルシェ</p>	<p>（希望者向け） オプション対応</p>

日程：平成31年（2019年）11月29日（金）～12月1日（日）

平成31年（2019年）
11月29日（金）

時間	事業内容	参加者
午後	農地の視察 会場：区内農地	被招聘者

11月30日（土）

時間	事業内容	参加者
午前・午後	（仮称）練馬大根引っこ抜き世界大会 会場：区内農地	一般来場者 被招聘者
時間	事業内容	参加者
午後	分科会（取組紹介、意見交換等） 会場：区民・産業プラザCoconeri内のホール・研修室等	一般来場者 被招聘者

12月1日（日）

時間	事業内容	参加者
午前	シンポジウム（パネルディスカッション、サミット宣言等） 会場：練馬文化センター大ホール	一般来場者 被招聘者
時間	事業内容	参加者
午後	みんなde農コンテスト表彰式 会場：区民・産業プラザCoconeri内	一般来場者
時間	事業内容	参加者
午前・午後	ワールドマルシェ 会場：平成つつじ公園	一般来場者 被招聘者

12月2日（月）

時間	事業内容	参加者
未定	（希望者向け）オプショナル対応	被招聘者

(4) 被招聘都市

海外から招聘する都市は、都市農業について、特徴的・積極的な取組を行っている都市とする。

世界都市農業サミットでの意見交換等を効果的に行うため、被招聘都市は5都市とする。各都市からは、行政関係者、農業者・関係団体、研究者のうち2～3人を招聘する。

地域	都市名(国)	人口・都市農業概要	選定の視点
北米	ニューヨーク市 (アメリカ)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口800万人超のアメリカ最大都市。 ・未利用地を活用した農園やルーフトップファームを通じて、農のあるライフスタイルが流行。 ・市の公園局が、NPO等の運営するコミュニティガーデンを認証し、コミュニティガーデンの保護や運営に関わる技術支援等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組主体やメディア、行政の対応等から、都市農業が新たなライフスタイルとして浸透した要因を学び、今後、都市農業の関心層を広げていく上での示唆を期待。 ・レクリエーションとしてだけでなく、貧困地域における農産物の供給や若者の就労支援などの一環として都市農業を活用。社会福祉施策として都市農業が活用されている点に注目。 ・都市農業分野における多くのアントレプレナーを輩出しており、新しい農業経営の手法について示唆を期待。
	トロント市 (カナダ)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口270万人のカナダ最大都市。 ・トロント市内における食料生産の重要性の高まりを受けて、2012年に「GrowTO:都市農業アクションプラン」を策定。このプランでは、貧困問題の解決やコミュニティ強化など様々な目的から市内で取り組まれている都市農業を紹介し、その支援を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の半数が外国からの移民であることから、移民を地域社会に取り込むために農園事業が効果的に用いられており、都市農業を通じたコミュニティ形成の手法を学ぶ上で参考となる。 ・ハリケーンによる水害をきっかけに、河川流域部の公有地化を進め、収用した土地をNPO等に貸し出し、コミュニティガーデンの開設を支援している点に注目。

地域	都市名(国)	人口・都市農業概要	選定の視点
欧州	ロンドン市 (イギリス)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口800万人超のイギリス最大都市。 ・市民農園が定着。2012年のオリ・パラロンドン大会までに2012か所の市民農園開園を目指す「キャピタル・グロウス・キャンペーン」を展開。 ・市の土地利用計画を定める「ロンドン計画」において、市民農園の保護と商業用農産物の生産、市民農園開設のための農地確保など農業振興施策を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市の限られた空間の中で、市民農園数を急激に拡大させた点に注目。 ・官民協働で所有形態や規模の多様な空間を掘り起こして農地に作り変え、コミュニティを形成していく手法は、今後、農地を核とした新たなまちづくりを進める上で示唆を期待。 ・オリ・パラを契機として、市民が一体となって取り組む機運づくりとしても参考となる。 ・農地を都市に必要な社会基盤の一つと見なし、都市農業の健康や福祉面での利益を積極的に評価しており、今後のまちづくりにおける都市農業の活かし方について示唆を期待。
	ジャカルタ首都特別州 (インドネシア)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口960万人のインドネシア首都。都市規模・密度ともに東京特別区に類似。 ・近年、急速な工業化・商業化により、農地は減少傾向。 ・州面積30%の緑地確保を政策目標に掲げ、都市農業を振興。宅地化にあわせたコミュニティガーデンの整備も進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地では、主に畑作・稲作・果樹栽培が営まれており、その農地の多くは企業が所有。今後も開発による農地の減少が見込まれることに注目。 ・政策的に都市農業の役割が位置付けられ、露地栽培を基本としつつも限られた農地で収穫総面積を確保する取組や空地等様々な形態で農地を創出する取組にも注目。
アジア	ソウル特別市 (韓国)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口約1,000万人の韓国首都。 ・2015年から都市農業2.0ビジョンを掲げ、都市農業を推進。 ・2012年からソウル世界都市農業万博を開催し、2018年に7回目を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市にありながら、専業農家の耕作地と市民団体などの多様な主体が運営する農園を有している点に注目。 ・都市農業を通じて、市民のレクリエーション、コミュニティの活性化、教育機会の提供を行うなど農の持つ多様な機能を効果的に発揮している点に注目。

2. プレイベント

世界都市農業サミットの開催に向けた区民等の機運醸成および被招聘者の練馬の都市農業への理解促進等のために、サミットの前年である平成30年（2018年）にプレイベントを実施する。

(1) 日程

平成30年（2018年）11月24日（土）～11月25日（日）

(2) 会場

メイン会場：区民・産業プラザCoconeriホール
 イベント会場：平成つつじ公園、区内農地

(3) 内容

プレイベントに向けて、多くの区民等が参加できるよう、楽しく夢のあるアイデア（絵画）や企画を募集する、みんなde農コンテストを平成30年7月1日から平成30年9月7日まで実施する。

区民等に都市農業の魅力や現状について理解を深めてもらえるように、著名人や都市農業者等による区民向け講演会のほか、みんなde農コンテスト表彰式、練馬の都市農業等のPRパネル展示を開催する。

また、主なサミット被招聘者に、練馬区の農業を体験・視察していただき、サミットにつながる意見交換を行う。

平成30年11月23日（金）	11月24日（土）	11月25日（日）
夕方 JAZZコンサート （前夜祭）	午前 区民向け講演会 【トークショー形式】 午後 みんなde農コンテスト 表彰式	午前 収穫体験事業
	ねりマルシェ パネル展示	パネル展示

日程：平成30年（2018年）11月24日（土）～11月25日（日）

平成30年（2018年）
11月23日（金・祝）＜前夜祭＞

時間	事業内容	参加者
夕方	JAZZコンサート（前夜祭） 会場：区民・産業プラザCoconeriホール	一般来場者

11月24日（土）

時間	事業内容	参加者
10:30～ 12:00	区民向け講演会【トークショー形式】 会場：区民・産業プラザCoconeriホール	一般来場者 被招聘者
時間	事業内容	参加者
10:00～ 15:00	ねりマルシェ 会場：平成つつじ公園	一般来場者 被招聘者
時間	事業内容	参加者
13:00～	みんなde農コンテスト表彰式 会場：区民・産業プラザCoconeriホール産業イベントコーナー	一般来場者
時間	事業内容	参加者
終日	練馬の都市農業等のPRパネル展示 会場：区民・産業プラザCoconeriホール産業イベントコーナー	一般来場者

11月25日（日）

時間	事業内容	参加者
10:00～ 12:00	収穫体験事業 会場：平和台・土支田・東大泉の農地	一般来場者
時間	事業内容	参加者
終日	練馬の都市農業等のPRパネル展示 会場：区民・産業プラザCoconeriホール産業イベントコーナー	一般来場者

3. 区民参加等の推進

広く区民や団体等と連携して機運醸成に取り組み、世界都市農業サミットを開催する。

(1) 区民等との連携

① 通訳スタッフ

練馬区外国語通訳ボランティアを中心に、サミット開催時に協働する通訳スタッフを募集する。都市農業に関する講習を実施し、農業関連の専門分野も通訳できるスタッフを育成する。

② 被招聘都市ごとのチーム編成

通訳スタッフと農業者、その他関係者による被招聘都市ごとのチームを編成する。（例：チームロンドン）

被招聘者を来区前からチームがサポートし、滞在中も行動を共にする。

③ サポーター

学生や農サポーター等にサミットのイベント会場の会場スタッフなどのサポーターとしてサミット開催時に従事してもらう。

(2) 農業者や農業関係団体との連携

ねりマルシェ実行委員会等と連携し、サミットを契機に実施する取組や、サミット、プレイベント開催に合わせて行う事業について企画、実施する。

(3) 飲食店、商店街、大学、企業等との連携

サミット開催に向けた機運醸成や、関連事業の実施など、多岐にわたり連携する。

また、農業者と事業者・商業者との新たな交流の場をサミットを契機に設ける。

① 飲食店、レストラン

練馬産農産物を使用する店舗を増やし、各店舗において、地場農産物の魅力やサミット開催をPRするとともに、サミット開催期間中に来訪者等へのおもてなしをする。

② 商店街等

練馬産農産物を使用した商品の開発・販売やサミット開催をPRするとともに、サミット開催に合わせた事業を実施する。

③ 大学

大学の専門性や学生の発想を活かして、サミット開催の効果的なPRや農業者と連携した事業等を実施する。

④ 企業

サミットに協力いただける企業の各種広報活動の中で、サミット開催のPRや、サミット開催に合わせた事業を実施する。

⑤ その他

みんなde農コンテストの開催等により、区内小中学生やNPO等の参加を求める。

4 実施体制

世界都市農業サミットの実施にあたり、関係機関・団体、行政等が幅広く参加し、緊密に連携しながら取り組むため、世界都市農業サミット実行委員会を設置する。

構成は、学識経験者、農業関係団体、区内団体、農業者、区民、区内大学、事業者、国、東京都および練馬区とする。

世界都市農業サミット実行委員会

役職	氏名	所属団体等	所属団体役職等
会長	前川 燿男	練馬区	区長
副会長	横張 真	東京大学大学院	都市工学専攻教授
	後藤 光蔵	武蔵大学	名誉教授
	黒田 叔孝	練馬区	副区長
	山内 隆夫	練馬区	副区長
	河口 浩	練馬区教育委員会	教育長
委員	須藤 正敏	東京都農業協同組合中央会	会長
	榎本 高一	東京あおば農業協同組合	代表理事組合長
	加藤 和雄	練馬区農業委員会	会長
	横山 正二	練馬産業連合会	会長
	宮本 茂昭	区内農業者	農の風景育成地区内農業者
	渡戸 秀行	区内農業者	江戸東京野菜生産者
	野坂 亮太	区内農業者	江戸東京野菜生産者
	加藤 義松	区内農業者	(特非) 全国農業体験農園協会理事長
	白石 好孝	区内農業者	農業体験農園「風のがっこう」園主
	山口 卓	区内農業者	J A東京青壮年組織協議会顧問
	加藤 博久	区内農業者	六次産業農業者
	越後屋 美和	株式会社HORIGO 東京ワイナリー	代表
	伊藤 雅史	練馬区農の学校修了・ねりま農サポーター	
	菅原 信治	練馬区農業体験農園 利用者	
	森 香織	日本大学	藝術学部デザイン学科教授
	田中 雅樹	株式会社 西武ホールディングス	総合企画本部経営企画部第一事業戦略部長
	古澤 達也	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
水野 秀信	農林水産省	農村振興局農村政策部都市農村交流課都市農業室長	
龍野 功	東京都	産業労働局安全安心・地産地消推進担当部長	
監事	篠 利雄	練馬区商店街連合会	会長
	大羽 康弘	練馬区	会計管理室長

(敬称略)